



A-TIC PRESS

エーティック広報誌

2017
夏
第3号

CONTENTS

- 未来のヒーロー&ヒロイン インタビュー
 - トンネル人物列伝 第3回 田辺 朔郎 (文)岡田正之
 - 道内トンネル文献あれこれ
 - エーティック業務紹介
 - 陰の功労者
 - 技術者コラム 第3回 野菜づくりで思ふ (文)井形 淳
 - 全社研修会・上期安全大会

ごあいさつ

盛夏の候、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

弊社広報誌「A-PRESS」2017夏号をお届けいたします。いつもながら大変不恰好&不躰な巻頭言からお届けすることをお許しいただきつつ、お手すきの際に眺めていただければ幸いです。

さて、本号の注目記事はフレッシューズの紹介です。前向きで熱意を持った弊社自慢の若者たちですので、伺った際には可愛がっていただければと思います！

しかし、リクルート関連の話題を見聞きしていると、「今の若者は理解し難い!」「扱いが難しい。。。」などと嘆き、「〇〇世代」「〇〇類」などと時の若者を何か特別なモノに仕立て上げようとする風潮がありますが、これにはいつも違和感を覚えます。いつの時代も「デキるやつ」「フツのやつ」「どうしょもないやつ」の割合はそう変わらないような気がするのですが。

団塊ジュニアの私自身、「何にもできない」「なーんにも知らない」そのくせ「ナマイキ」なただの「ひよっこ」(今も!と言われそうですが。。)だったことを思い出しつつ、謙虚でいなければと思う今日この頃。「新人類」などと呼ばれた先輩達も今や還暦間近ではないでしょうか。諸説ありますが、今の新卒世代は「ゆとり世代」もしくは「脱ゆとり」と囃された世代だそうです。マーケティングの世界では大変重要なキーワードだそうですが、“なんとなく無意味なカテゴライズ”はやめたいものですね。前途洋々な彼らと共に歩んでいけることに大きな喜びを感じつつ、近い将来、皆様の前で堂々と打合せをさせていただいている

姿を思い浮かべながら、彼らの素顔をお伝えいたします。

そして、恒例記事を挟みつつ、新コーナーの「陰の功労者」にも注目です。現場に寄り添う「問題解決型コンサルタント」を標榜する弊社における縁の下の力持ち。弊社伝統の計測・モニタリング技術を支える”巧”です。今後も続々と「陰の実力者?」をご紹介してまいります。

優秀な技術者の確保・育成は最大の経営課題の一つではありますが、それと同時に多様化するニーズへの対応や働き方改革を推進するため生産性向上や効率化、業務品質・精度・対応力の向上に資する新技術の開発・導入が必要不可欠です。弊社ではオリジナルの構造物点検支援システムの導入や各種計測システム・ソフトの開発、新たな地山強度推定技術の研究、i-Constructionに繋がる3D・CIM技術の導入、AI技術による業務管理システムの導入検討などあらゆる分野において積極果敢にチャレンジしております。

今年度も皆様のニーズに寄り添いより質の高いプロセスと成果をご提供できるよう全社一丸となって邁進してまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年7月

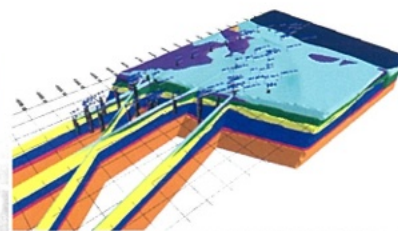
株式会社エーティック
代表取締役社長 舟田 幸太郎



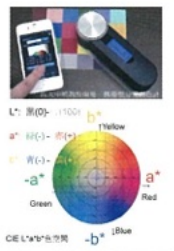
クラック自動抽出CAD化



フィールドビュー 360°



3次元地盤モデル



コア非破壊測定

未来のヒーロー&ヒロイン インタビュー

今年度エーティックには、5名の新卒フレッシュマン&ウーマンが入社しました。そこで、5つの質問に答える形で各人を紹介いたします!! 次代を担う若者達。どんなことを考え、将来どんな立派な社会人になってくれるのか楽しみですね♪ 教育係に任命された、先輩社員からの一言にも注目です☆



質問内容



- Q1 ● この業界を選んだ理由を教えてください。
- Q2 ● 学生時代に一番力を入れていたことは何ですか?
- Q3 ● 実際にエーティックに入社してみていかがですか?
- Q4 ● 自己PRをお願いします。
- Q5 ● 今後の抱負をひと言



植田 雄大

酪農学園大学 農食環境学群 卒
技術第二部 環境グループ



- A1 ● 技術士一次試験の合格だと思えます。資格を活かすことができる業種とは何だろうと気になり、建設コンサルタントという業種を知りました。
- A2 ● アルバイトです。アルバイトを通していろいろなことを学ぶことができましたし、なにより辞めずに続けることの大切さを学ぶことができたと思います。
- A3 ● 人見知りをするため、会社になれるまで時間がかかりましたが、先輩や上司の方々はいい方ばかりでとても安心しました。まだ入社して3ヶ月ですが、とてもいい会社に入社することができたと思います。
- A4 ● 私の強みは何事もあきらめずに続けてみることにあります。私は負けず嫌いで、物事を途中でやめることは自分に負けているような気がして嫌です。そのため、ある程度はがむしゃらにでも続けてみようという気持ちになります。私は仕事に関しても、仕事ではないことに関しても自分の強みを活かして壁を乗り越えていければと思います。
- A5 ● ほとんどのことが初めての経験になりますが、多くのことを吸収し自分のものにするのと同時に楽しんでやることができればと思います。

【教育係の中村さんから一言】

建設コンサルタントの仕事は、知識・経験とコミュニケーション力が必要になります。まずは、現場等で色々な知識を吸収し、それを人に伝える力を養って下さい。失敗を恐れず、訊ねることをためらわず、今得られる全てが将来の自分を形成します。



若山 大斗

函館工業高等専門学校 卒
技術第二部 防災地質グループ



- A1 ● 調査業務や解析業務などに興味があったからです。また、それらの業務を行っている中でもコンサルタント業は、顧客に対する提案等の能動的な姿勢が求められると感じ、そこに魅力を感じました。
- A2 ● 数値解析やグラフィック系のライブラリ作成などのプログラミング、システム開発です。
- A3 ● 先輩方など優しい方が多く、気さくに話しかけてくれるので良かったです。
- A4 ● 土木の勉強のかたわらシステム開発等の情報分野も勉強していたので、それを生かして何か出来たらと思います。
- A5 ● 小さいことからコツコツと積み上げていければと思います。

【教育係の工藤さんから一言】

● 無駄と思えることが、知見を広げる。
● 多くの失敗を経験することで、より成長する。
エーティックは、これを認め、カバーしてくれる会社です。まずは、行動(チャレンジ)、それと同時に考える! 行動力とひらめきを大事に、新人だからこそ許される“今”を存分に楽しんでください。



富田 駿介

北海学園大学工学部 卒
技術第一部 構造保全グループ



- A1 ● 率直に大学で学んだことを少しでも利用しなかったからです。それでも仕事となると、専門的に深く入り込んでまだまだ分からないことが山のようにありますが、一つ一つ覚えていこうと思います。
- A2 ● 4年間続けてきたアルバイトです。飲食店のアルバイトですが、お客さんとのコミュニケーション、給料を貰って生活を向上させる充実感、4年間同じ店でアルバイトをしてきたという達成感を得ることができました。
- A3 ● 何より仕事の雰囲気がかっこいいです。私は会社訪問等で社員の方がどのような雰囲気働いているのかを見て会社を決めていた点がありました。その点でエーティックは社員同士のコミュニケーションを大切にしている会社なので、年齢が離れていても気軽に会話ができると思いました。入社後も良い意味でイメージ通りの会社なんです。
- A4 ● 小学から大学まで野球をやっていました。もちろん入社してからも日曜日には野球をやりに出掛けています。体力は人一倍あります!
- A5 ● 今年からは長年続けてきた学生ではなく正真正銘の社会人です。ここからは1からではなく0からスタートし、いろいろなことを吸収したいと思っています。学生での甘えを捨て、後悔のない人生にしていきたいと思っています。

【教育係の三木さんから一言】

建設コンサルタントの仕事は技術力と営業力が必要となります。技術的な知見を深めると共に物事の本質をとらえ、顧客に寄り添うことのできる技術者を目指して下さい。



久保 佳澄

千葉大学 工学部 卒
技術第一部 道路グループ



- A1 ● 自然災害に対応する社会資本整備に興味を持ち、将来は道路・橋梁など人々の生活に欠かせない公共インフラに携わる仕事をしたいと考えようになりました。都市基盤の基礎をつくる土木の分野から、社会の安心・安全を高度な専門技術や知識の提供によって支えていくという仕事に憧れを抱き、私はこの業界を選びました。
- A2 ● 大学の卒業研究に伴って、ドローンの操縦技術を身に付けたことです。研究内容としては、2016年熊本地震の被害把握を目的に、ドローンによる空撮調査を行い、被災状況の3次元モデル作成を行いました。
- A3 ● 実際の業務や現場を見させていただきながら、様々な専門知識を勉強する毎日です。不安もありましたが、周囲の皆さんが一つ一つ丁寧に教えてくださる方ばかりで、道路についての新たな知識が自分の中で増えていくごとに、面白さとやりがいを感じながら日々働いています。
- A4 ● 学生時代からドローンを飛ばしたり、今までやったことなかった何かに挑戦すること、自分の知らない知識に触れたいという気持ちもあって、人とコミュニケーションを取ることが好きです。このような考え方や気持ちを仕事でも生かしていきたいと思っています。
- A5 ● 専門知識の習得はもちろんのこと、業務の中で得られた様々な知識や、一つ一つの経験を自分の成長に繋げられるよう頑張っていきたいと思っています。エーティックの女性技術者として、多くの方に認めていただけるよう、どんなことにも積極的に、沢山のことを吸収する姿勢で取り組んでいきたいです。

【教育係の櫻井さんから一言】

入社してから早いもので3ヶ月が経ちました。既に業務に携わり、打合せにも同行して、徐々にスキルアップしている姿を見て嬉しく思います。コンサルは専門的な知識のみならず、相手に判り易く説明する能力、迅速な対応力、コミュニケーション力も重要であり、顧客との信頼関係の構築が必要になります。久保さん持ち前の「向上心と吸収力」で「顧客に頼られ、信頼される技術者」になることを期待しています。



鳴海 翔

北海道札幌工業高等学校 卒
札幌工業専門学校 在学中
技術第二部 計測グループ



- A1 ● 自分は工業に関して興味があり高校で土木科に入り、授業を受けていて土木に興味を持ち、その中でも施工の前段階の測量や設計に興味がありこの業界を選びました。
- A2 ● 学生時代に一番力を入れていたのは遅刻欠席をなるべく減らし成績を上げることです。
- A3 ● 新人の歓迎会などで明るく楽しい会社だと思いました。また新人の私を気にかけてくれる優しい先輩方が多く、明るく優しい会社だと思いました。
- A4 ● 音楽を聴くのが好きでライブなどたまに行きます。同じ趣味の方いたら一緒にいきたいです。
- A5 ● まず学校でしっかり学び卒業し、その後は早く役に立てるよう頑張りたいと思っています。

【教育係の村上さんから一言】

なかなか難しいですが、以下のことを念頭にお互いに頑張りましょう。

- 真剣だと知恵が出る。 ● 中途半端だと愚痴が出る。 ● いいかげんだと言い訳ばかり。
- 仕事とは楽しく、一生懸命やるもの。 ● やる気とは働いて見えるもの。
- 努力とは結果で示すもの。 ● 目標とは最後まで挑戦して超えるもの。

トンネル 人物列伝 第3回

情熱と使命感に燃える若き土木技術者、北海道浪漫鉄道実現へ

田辺 朔郎 その2

専務執行役員 岡田 正之

〈前回の概要〉 明治維新後、人口が激減し危機に瀕していた京都が、近代都市として再生を果たす契機となった「琵琶湖疏水工事」、この工事を指揮したのが、20代の若きエンジニア田辺朔郎でした。工部大学校在学中に、疎水計画を卒業論文として完成、卒業後京都府主任技師に抜擢され、前代未聞の難工事を日本人だけの手で完成させました。

日本一の長大トンネル

疎水工事は1885(明治18)年に長等山を通る延長2,436mの第1トンネルから開始されました。第1トンネルは当時日本で一番長いトンネルで、1890(明治23)年に完成しました。引き続き山科の山麓を通る開渠、船を台車で高台に引き上げるインクラインなどが建設されました。

今回は第1トンネルの建設技術に着目して紹介します。

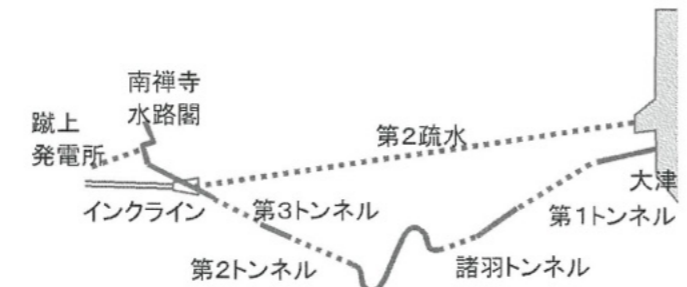
本邦初の立坑方式を採用

第1トンネルは三井寺下と山科の藤尾の両側から掘り進められましたが、トンネルが確実につながるよう、途中に2つの立坑(竪坑)を掘り、坑底からも両方向へトンネルを掘進しました。この日本で最初の立坑方式によって切羽を増やすことができ、工期短縮を図ることが可能となりました(図2)。トンネルの断面は、幅4.8m、高さ4.2m(水深1.8m)で、鉄道単線トンネルとほぼ同じ大きさです(図3)。支保工は木製支保工が用いられ、覆工は主として煉瓦により巻き立てられました。

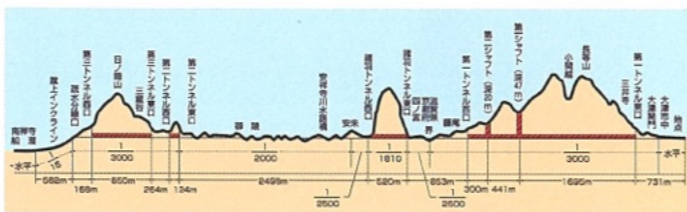
機械化を進めコスト削減

日本は山国であり、古来多くのトンネルが掘られてきました。明治以前のトンネル掘削技術は、いわゆる手掘りや鑿と槌などの手工具で掘ったと思われます。明治以降、鉄道の導入にとともに、大断面トンネルの掘削技術が外国から入ってきて、次第に機械化が進みました。

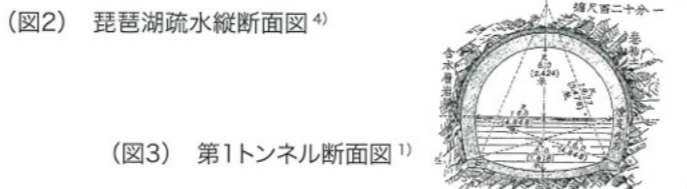
琵琶湖疏水工事においても、削岩機、ダイナマイト、蒸気ポンプ、蒸気巻き上げ機などの機械化が推進されました。立坑の坑底には揚水ポンプを設置し、足踏み水車や手押しトロッコ、蒸気巻き上げ機によるズリ出しを行い、これにより工事単価は178円/mで、当時の鉄道トンネルより安く仕上げられました。



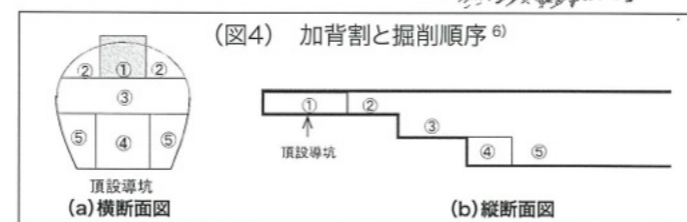
(図1) 琵琶湖疎水のルート⁵⁾



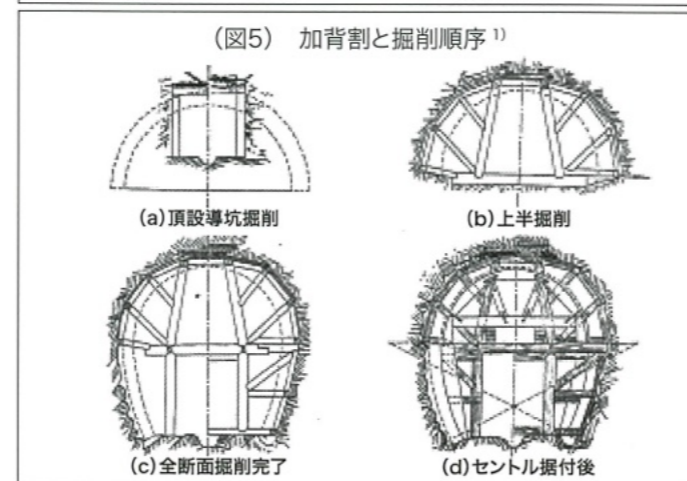
(図2) 琵琶湖疎水縦断面図⁴⁾



(図3) 第1トンネル断面図¹⁾



(図4) 加背割と掘削順序⁶⁾



(図5) 加背割と掘削順序¹⁾



岡田 正之 専務執行役員 技術士(総合技術監理・建設部門)

歴史的トンネルの建設に携わった先人達の偉業や技術への思いを、連載で紹介しています。エンジニアのほか、土木を志す若者たち、一般市民の方々にも読んで頂ければ幸いです。

〈略歴〉

1953年札幌市生まれ。76年北大工学部土木工学科卒業。同年前田建設工業(株)入社、青函トンネル吉岡工区勤務を経て、本社技術研究所で山岳トンネル工法の研究開発に従事。90年北海道開発コンサルタント(株)(現(株)ドーコン)入社、主に山岳トンネルの設計、施工管理などを担当。2012年(株)エーティック入社現在に至る。土木学会北海道支部 選奨土木遺産選考委員。

掘削工法は、オーストリア式(頂設導坑方式)とベルギー式(逆巻き式)が採用されました。オーストリア式は日本で広く用いられた工法で、図4、図5に示すように、天井近くに導坑を掘削し、これを左右、さらに下方に拡幅するものです。図中の丸数字は掘削順序を示しています。

崩落事故発生も全員無事生還

第1トンネルの着工から2年あまり経った1888(明治21)年10月5日午後10時20分に巻き立てが遅れていた東口坑口から15mのところで崩落が発生し、その後再度崩落があり、65名が坑内に閉じ込められました。地上には12.6m×10.8m、深さ5.4mのくぼみが生じました。内外から脱出口を作ろうとしましたが、土砂には支保の木材等が混入しており、作業は難航しました。また、坑内と連絡が取れなかったため、坑内から掘る脱出穴と外部から掘る救出穴の位置が相違し、それをつなげるのに苦労しました。ようやく3日後の午後7時30分脱出口がつながり、全員無事救出されました。

次回は禅海の予定です

道内トンネル文献あれこれ

平成28年12月～平成29年6月において、専門雑誌等に発表された、北海道内のトンネルに関する論文・報文等のリストを紹介し、トンネル関係者の方々へ最新情報を提供いたします。なお、詳細を知りたい方は弊社までお問い合わせ下さい。

■国道・道道他

- ① 小出啓剛:一般国道5号 小樽市 忍路トンネル工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.60, pp6-8, 2016.
- ② 望月克則:日高自動車道 日高町 豊郷トンネル工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.60, pp9-12, 2016.
- ③ 能登喜幸, 平森誠, 相山孝司, 宮内俊彦:供用中の既設トンネルに接続させるバイパス分岐部の施工, 一国道231号 浜益トンネルトンネルと地下, Vol.48, No.2, pp37-43, 2017.
- ④ 芳川信之, 櫻井司, 厨川弘樹, 八木偉留真:日高自動車道日高町厚賀トンネル工事施工における各種取り組みについて, 2017トンネル技術研究発表会論文集, pp57-64, 2017.
- ⑤ 佐々木博一, 柳原正, 亀田徹也, 八木直人:高圧湧水帯の地山における水圧管理手法を用いたトンネル掘削一函館江差自動車道 木古内町 渡島トンネル木古内工区工事一, 2017トンネル技術研究発表会論文集, pp65-72, 2017.
- ⑥ 孤山晃, 古市圭典, 成田望, 館雅春:ウォータータイトトンネルにおける円形断面の施工実績一旭川十勝道路 富良野市 北の峰トンネル工事一, 2017トンネル技術研究発表会論文集, pp83-94, 2017.
- ⑦ 高橋佳孝, 高橋淳一, 小笠原佑基:函館江差自動車道 北斗市 渡島トンネル北斗工区工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.61, pp1-4, 2017.
- ⑧ 貝澤寿泰:一般国道229号 せたな町 新美谷トンネル工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.61, pp5-8, 2017.

■高速道路

- ⑨ 佐藤正, 日野道雄:北海道横断自動車道 天狗トンネル工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.60, pp2-5, 2016.
- ⑩ 永利将太郎, 石川大輔, 中田暁之, 山中桂司:多量湧水に対する管理手法を用いた対策工法について一北海道新幹線、村山トンネル他工事一, 2017トンネル技術研究発表会論文集, pp73-81, 2017.

■新幹線・鉄道

- ⑪ 山中桂司:北海道新幹線、村山トンネル他工事, 北海道土木技術会トンネル研究委員会会報, No.60, pp13-16, 2016.

※文中、敬称は省略させて頂きました。

北海道開拓の礎を築く

1890(明治23)年4月9日、明治天皇臨席のもと、琵琶湖疏水の完工式が盛大に挙行されました。同年11月田辺朔郎は、東京帝国大学工科大学教授となりますが、1896(明治29)年帝大教授を自ら辞職し、北海道庁鉄道部長として北海道に赴任します。1,000マイルの北海道鉄道大動脈構想の夢を実現するためにです。

田辺は、馬しか有効な移動手段が無かった極寒の原生林に自ら踏み、狩勝峠を切り拓くなど、道央と道東を結ぶ鉄道ルートを調査設計します。京都に続く彼のこれらの偉業により、その後北海道は鉄道によって飛躍的發展を遂げました。

田辺の数々の偉業は、土木技術者を志した人間として、生命を賭しての使命感であったと同時に、情熱をたぎらせる仕事でもあったに違いないと考えます。

○参考文献

- 1) 田辺朔郎:とんねる, 丸善, 1922.
- 2) 田辺朔郎:琵琶湖疏水工事図譜, 村上書店, 1891.
- 3) 田村喜子:北海道浪漫鉄道, 新潮社, 1986.
- 4) 京都市上下水道局HPより
- 5) 岩本太郎:琵琶湖疏水を歩く(浜大津-京都蹴上), 龍谷理工ジャーナル, pp.1-9, VOL.26-1, 2014.
- 6) 岩本太郎:トンネルの話, 龍谷理工ジャーナル, pp.1-10, VOL.27-1, 2015.

道路 グループ

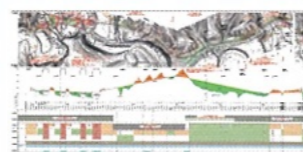
道路は人の移動や物資の輸送に不可欠な最も基本的な社会資本の一つであり、社会経済の発展、国民生活の向上に重要な役割を果たしています。今後も交通ネットワークの要として、時間制約のないフレキシブルな利用、ドアツードアといった利便性を携えて、その役割を果たしていくため計画的な整備・維持更新が求められています。

道路グループでは、道路本体および附属施設設計、擁壁工・カルバート工等の構造物設計、道路防災対策といった道路全般の業務を行っており、その概要を紹介いたします。

道路設計

道路ネットワークは、広域的な交通を担う高規格幹線道路・主要幹線道路から地区内交通を担い日常生活に不可欠な生活道路まで、多種多様な道路で成り立っています。多様化する地域ニーズに応えるため、道路利用者の立場にたち、それぞれの道路に備えるべき機能を十分に考慮して、さまざまな道路のあり方をご提案します。

- 高規格幹線道路、一般道路、街路の計画・設計
- 交通渋滞・交通事故対策の調査・設計
- 道路附属施設の計画・設計
- 道路事業の施工計画検討・事業費管理



施工計画検討縦断面図



UAVによる現況調査

道路構造物設計

道路の本体構造と沿道地形や土地利用状況によっては、道路本体の一部を形成する擁壁工やカルバート工の設置が必要となります。これら構造物の必要性や最適な形状・配置計画といった新設設計はもちろんのこと、既存施設の維持・補修など各種課題に応じた対応策をご提案します。

- 各種カルバート工本体および附属物、基礎工の計画・設計
- 各種擁壁工本体および附属物、基礎工の計画・設計
- 道路土工構造物の設計



函渠完成状況



補強土壁工完成状況

道路防災対策

近年の我が国では、相次ぐ台風の上陸や局所的な豪雨・地震等により斜面崩落や道路盛土の崩壊など道路の分断を余儀なくされる事象が頻発しています。また、北海道のような積雪寒冷地では吹雪や雪崩による交通障害や交通事故が発生しています。安全・安心な道路交通を確保するため、現地状況を十分に把握し、最新の知見をもとに最適な対策工法をご提案します。

- 落石、斜面对策の調査・設計
- 越波対策の調査・設計
- 吹雪、雪崩対策の調査・設計



視程障害調査



越波対策状況調査

陰の功労者

エーティックは現在、長期ビジョンとして「売上・事業領域の拡大、技術・品質の向上、魅力ある会社づくり」を掲げ、実現に向けて会社の総力を結集し、あらゆる変革にチャレンジしていますが、創業当時から変わらないこともあります。それは、エーティックは大きな家族のような会社であるということです。そんなエーティックを支えてくれているひとりー 澁谷雄三(しぶや ゆうぞう)さんを紹介いたします。

澁谷さんは、みんなから「シブさん」と親しみを込めて呼ばれ、現場で使用する計器や治具等の製作や準備等を行っており、現場状況にあったグレードの高い製作品を提供してくれます。よく現場からの声を聞き、現場で困らないよう一緒に考えて、様々なアイデアを出してくれる陰の功労者であり、みんなからとても頼りにされています。また、シブさんは現場用品の製作だけでなく、社屋の修繕等も手がけ、社内幅広く活躍しています。まさに縁の下の力持ちです。

そんなシブさんも今年で60歳となり、その技術は次世代に継承していくことは言うまでもありませんが、まだまだ私たちにとって必要不可欠な存在です。シブさんの様に表舞台には立たなくても、陰で支えてくれる人に感謝することを忘れてはならないと強く思います。



澁谷 雄三

技術第二部 age 60

どんなモノでも作ります！
これまでに一番苦労したのは豊平川で使用した筏です。これからも安全第一をモットーに、まだまだ現役頑張りますっ！

環境 グループ

自然環境調査は、河川区域や道路事業区域において動植物の生息・生育状況を調べており、これまでに北海道内の様々な地域で調査を実施してきました。

自然環境調査の主な目的は、大きく二つに分けることができます。一つ目は、調査対象地域の生物相の基礎情報収集です。これは、対象地域の自然環境の現状を把握するとともに、経年結果から自然環境、生物相の変化を捉えるものです。二つ目は、河川改修、砂防事業及び道路事業実施に伴う保全計画の検討・立案です。事業実施前に対象地域の生物相を把握した上で保全計画を検討・立案し、設計・施工にフィードバックさせます。また、保全対策として、事業実施前の植物等の移植、事業実施時の猛禽類モニタリング調査等を実施しております。これら保全対策による環境に配慮した事業実施により、人と自然が共存できる社会の実現に貢献しております。



技術者コラム (第3回) …… 野菜づくりで思ふ



井形 淳

技術第一部 次長
age 49
博士 (工学)
技術士
(建設部門-河川、砂防及び海岸・海洋)
(建設部門-建設環境)
(上下水道部門-下水道)

我が家は祖父の代から続く土木一家です。昭和56年の石狩川洪水の際には岩見沢に在住し、猛烈な大雨の中へ災害対応に出かける父の姿を見ていました。そんな親の仕事ぶりを見て育った私は、特別に意識もせずこの道を志しましたが、河川に関係する分野を選んだのは大学の講座選択の際です。「川を制するものは国を制す」といいますが、国家政策の重要課題であり、特に自然と対面する仕事に大変魅力を感じていました。それは会社勤めをして、より現場に触れる機会が増えてからは、益々強く感じられるようになりました。平成15年の沙流川洪水では、災害の前後から関連業務に携りました。沙流川は山地に挟まれた農村河川で、河川整備と地元産業、そして災害が複雑に関連していました。この業務ではあらゆる情報に触れましたが、災害の記録とそれを制御しようとする先人の足跡を見つけ、川の歴史と人間の活動をより意識するようになり、この仕事の難しさと奥深さを改めて感じました。

ところで私は野菜づくりを趣味にしており、週末は都会を離れて自然の中で過ごすことが多いです。ほしい時に降らない雨、予想通りに上がらない気温、突如発生した雹で作物が全滅したこともあります。野菜づくりの技術は年々上がってきましたが、毎年必ず違う問題が発生して、今まで思い通りにできたと思うことはありません。野菜づくりも河川工学も自然を相手にする時はいつも同じ気持ちになります。

昨年、北海道はかつてない降雨記録とともに再び大きな被害を受けました。思わず昭和56年洪水の記憶が蘇りましたが、それから35年間の技術革新と河川整備に費やした時間と労力を考え、我々が到達するゴールの遠さに徒労感さえ覚えます。しかしながら自然は容赦をしてくれません。全河川技術者が奮い立って新たな目標に向かうべき時と、気持ちを新たにす今日この頃です。

平成29年度 第31回 全社研修会

4月24日、札幌市生涯学習センター「ちえりあ」にて平成29年度第31回全社研修会を開催しました。冒頭に永年勤続者の表彰を行ったあと、開会の挨拶に立った舟田清志会長は昭和62年に開催した初回の研修会を懐かしみ、31回目となり社員と共に成長した今研修会への喜びと感謝の言葉を述べました。研修会では、舟田幸太郎社長が経営理念に込めた意味の重要性と経営方針の説明をした後に、中長期計画の発表を行い、魅力ある会社づくりにつながる事業展開に向けて全社員が一致団結するよう呼びかけました。このあと、年度計画においては岡田専務より経営戦略及び組織、飯塚常務より受注計画、土谷常務より品質目標について発表があり、各部門においては部長及び室長より部門行動計画について具体的な話がありました。閉会後は場所を移し、ホテルヤマチにて決起集会を行い、今年度の目標達成をあらためて誓いました。平成29年度の新たなスタートとして、大変充実した研修会となりました。



今年もゼロ災害の達成を！

5月18日、札幌市生涯学習センター「ちえりあ」にて平成29年度上期安全大会を開催しました。協力会社を含む役員ら102名が出席。大会では舟田幸太郎社長が基本を忠実とした安全活動の徹底を呼びかけました。

今年は、弊社の産業医でもあります溪仁会円山クリニックの園田先生による講演「メンタルヘルスについて 疲労の蓄積と回復のポイント」を通じて、バランスの良い食事を摂るように、睡眠や休息も心がけて「摂る」と言う事、また、ストレスにさらされている人を見つけたら「日々の声かけ」が重要だと学びました。このあと、防災研修会、活動報告の説明に続き、社員代表が安全最優先の理念の下、「無事故・無災害、安全運転に全社員が一丸となって努める」と安全宣言しました。今年もゼロ災害の達成を目指し、より一層の安全管理の徹底を社員、協力会社と共に誓いました。



株式会社エーティック 会社概要

- 商号 株式会社エーティック
- 代表者 代表取締役社長 舟田 幸太郎
- 所在地 〈本社〉 札幌市西区二十四軒1条5丁目6番1号
- 創業 昭和48年1月31日
- 資本金 52,500千円
- 従業員 93名
- 事業所 札幌本社 東京支店 道南支店 道央営業所 旭川営業所
- 表彰 平成25年 北海道開発局函館開発建設部 優良工事・業務表彰受賞
空知総合振興局札幌建設管理部 優秀現場代理人・管理技術者表彰受賞
平成28年 北海道開発局札幌開発建設部 優良工事等表彰受賞
平成29年 札幌市建設局土木部所管工事に係る設計等優秀履行者表彰受賞
北海道開発局網走開発建設部 優良工事等表彰受賞

組織図



編集後記

なんとか「A-PRESS」も3冊目の発行となりました。今号は、フレッシュな新入社員の紹介を盛り込みましたが、お楽しみいただけただけでしょうか？ 将来、エーティックを背負って立つ事になる若者たちの人柄や意気込みを感じていただけたら幸いです。立派な技術者になって、いつかの広報誌にコラムを書き下す日が来るのでしょうか。期待しています！！

広報委員会 広報誌部会 エーティック女性社員一同